

ザ・チャレンジ

(大学受験編)

夏休みも終わりを迎え、センター試験まで残り5カ月を切りました。計画的で充実した夏休みを過ごした受験生もいれば、なかなか思うように学習が進まず心残りだった受験生もいるかもしれません。まずはこの夏をしっかりと振り返り、計画的に進まなかった原因や、やり残してしまったことをいつまでにやりきるのか、改めて計画を立て直してみてください。そのうえで、受験生として9月以降やるべきことを着実に進めていきましょう。

受験生が9月以降すべきことは何か。まずは第1志望校の過去問演習です。「過去問は入試直前に解くものでは…」と考えている受験生も多いと思いますが、この時期に過去問を解く目的は二つあります。一つは問題の出題傾向をつかみ、教科ごとに今から具体的にどのような対策をしていけばよいか、計画を立てるためです。もう一つは今の自分の実力でどのくらい解けるかを

知ることで、基礎力の徹底を図るべきか、演習問題を解く量を増やすべきかなど、自分自身がやるべきことをより明確にするためです。

二つ目にすべきことは併願校を決めることです。併願校を組み立てることは、単に受験する大学を決めることだけでなく、第1志望校を受験する際、いかに自分の実力を出し切って受験できるかということにもつながります。受験期間が長い人は、センター試験から国公立の後期試験まで約2カ月。まずは併願校の入試日、出願締め切り日、合格発表日、手続き締め切り日など入試のスケジュールをしっかり把握しておきましょう。出願忘れや手続きミスで、せっかく進学できる大学に受験すらできないことも起こり得ます。そして、そもそも併願校としてどこを受験するかを決めるには、第1志望校を中心に難易度のバランスを考えた組み立てをする必要があります。最初

の試験は想像以上に緊張します。初めは解きやすい問題が多い大学からスタートし、徐々に難易度を上げて受験慣れしてから第1志望校の受験を迎えるようにしてください。各科目の配点や時間配分、問題の傾向によって、難易度には個人差があります。単に偏差値だけで判断するのではなく、実際の問題を解いてみることで自分自身の難易度をつかむとよいでしょう。

最後に、これからは模擬試験をしっかり受けて、常に自分の実力を把握しておいてください。まだまだ伸びる時期です。1カ月でも大きく成長します。常に自己分析をすることで学習計画の軌道修正が可能なので、模擬試験はぜひ積極的に受験してみてください。(CG高等館 東進衛星予備校)

※幼児教育から各段階の進学対応まで、多様な学びの情報を紹介。次回は小学校受験編。



大学進学情報紙「TOSHIN TIMES」
CG高等館 東進衛星予備校各校舎で無料配布中

Q. 9月にやるべきことは?

A. 今から過去問演習、併願校も決めて